

第58回岡山県がん診療連携協議会議事要旨

- 1 日 時 令和 7 年 4 月 1 4 日 (月) 18:00～19:12
- 2 形 態 web 会議
- 3 出席者 57 名

- 4 あいさつ
○開会の挨拶があった。

5 報告事項

(1) 岡山県

○資料 1－1～3 に基づき、令和 6 年度相談支援関連研修、及び妊孕性温存療法医療従事者研修事業の実施状況等について報告があった。

・相談支援関連研修として、3 月 17 日にアピアランスケア研修とオンライン相談対応研修をオンラインで実施した。アピアランスケア研修は国立がん研究センター中央病院に講師を依頼した。オンライン相談対応研修は NPO 法人日本オンラインカウンセリング協会に講師を依頼した。今年度も実施予定なので対象者へお声掛けをお願いしたい。

・妊孕性温存療法医療従事者研修事業については、岡山大学学術研究院に講師を依頼し、1～3 月に 7 医療機関で対面、又はオンラインで実施した。こちらも今年度も実施予定なので研修参加の調査にご協力をお願いしたい。

・岡山県保健体育課では学校におけるがん教育の推進に取り組んでおり、毎年がん教育における外部講師をお願いしている。今年度から「講演可能内容」の項目を追加した。今年度も外部講師リストの更新にご協力をお願いしたい。

津山中央病院より、今年度の妊孕性温存療法の研修会を 2 月に開催していただいたが、当日が悪天候（雪）で講師にお越しいただけず急遽オンライン開催に変更した。今年度も計画しているとのことで、県北地域であることも考慮し可能なら 1～3 月から幅を持たせての開催時期をご検討いただければありがたいと意見があった。

(2) 事務局・岡山大学病院

○資料 2 に基づき、令和 6 年度各拠点病院等から情報提供があった研修会・講演会について報告があった。引き続き、今後も情報提供いただきたい。

(3) 作業部会 等

① 地域連携部会

○資料 3－1. 2 に基づき、令和 6 年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績（R6.11～R7.3 集計分）（R6.4～R7.3 集計分）について報告があった。

・パスを多く活用している施設、使わない施設それぞれあるが、県内全体の年間合計で見ると前年とほぼ同数の使用状況であった。

・術後のがんのフォローは数年に及ぶことを患者に理解しておいてもらおうと同時に、かかりつけ医と連携することで主治医の負担軽減にもつながるかと思う。診療報酬上もプラスになるが、同意取得など事務部門の手間が増えるため各施設の事情は様々だと思うので、有意義だと思われる先生方にはぜひ積極的な活用をお願いしたい。

② がん相談支援部会

○資料 4 に基づき、2 月 3 日に web 開催された第 56 回がん相談支援実務者会議について広報があった。

・がん征圧月間の図書館との連携展示は、昨年度は新たに 2 施設追加し（岡山市立中央図書館と西大寺緑化公園緑の図書館）、11 館で開催。

・今年度も展示施設を検討しながら優先順位を決めて引き続き図書館と連携展示を行っていきたい。

・今年度、広報資材のポスター更新も検討している。

- ・がん相談支援センターの広報について、7～8 年前に広報していた民生委員や愛育委員へ再度広報することも検討している。
- ・今年度も岡山県がん相談員研修を年 3 回開催予定。
- ・昨年度で第 3 期 P D C A サイクルが終了したので、各施設が 3 年間の総括と課題について報告した。
- ・患者からのフィードバック (満足度調査) を行っているが、アンケートの回収率が低く拠点病院でさえ苦戦しているのが現状である。また、アンケート結果の活用方法についても課題が残るため、次期 P D C A サイクルの評価項目に盛り込んで皆で頑張っていきたい。
- ・本部会の開催方法・開催時間について、コロナ禍もあけたので、対面開催も年 1 回程度復活させることで検討中。
- ・第 3 期の課題をふまえて第 4 期 P D C A 評価表を岡山大学病院と岡山赤十字病院とでたたき台を作成し、各施設の部会メンバーから意見を募り完成させた。各施設の担当者には 4/4 配布済。5/26 の部会で各施設に発表していただく予定。「3-4 相談者の状況に合わせたコミュニケーションへの配慮」「3-6 利用者のニーズに応じた相談手段の検討」などの項目を追加した。一方、コロナ禍での対応や患者の意思決定支援の取組みについては削除した。

③ 緩和ケア部会

- 資料 5－1. 2 に基づき、3 月 3 日に web 開催された第 3 4 回緩和ケア実務者会議、及び令和 7 年度緩和ケア研修会の開催予定について報告があった。
- ・岡山県から、緩和ケア研修会の参加者の職種について報告があった。医師以外にも看護師、歯科医師、歯科衛生士他、多職種が受講していることが分かった。今後も多職種に受講していただきたいので参加者募集の際には幅広く周知することとなった。
- ・2024 年度緩和ケアチーム登録の集計結果について、岡山県は全国と比べて、治療終了後や P S が落ちたからの緩和ケアチームへの依頼が多く、依頼時期がやや後ろにずれている現状が共有された。
- ・第 1 2 回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 緩和ケア部会報告では、部会自体が形骸化しつつあるという問題や、緩和ケアを担う人材の確保に課題があることが共有された。
- ・令和 7 年度緩和ケア研修会の開催予定について共有した。
- ・議長から、岡山県はどうして緩和ケアに紹介するのが P S が悪くなってからが多いのかと質問があった。
- 委員：全国と比べると割合的にやや遅めの方が多いという報告で、決して岡山県が緩和ケアに紹介するのが遅いというわけではない。
- 委員：実際、岡山県は緩和ケア専門医が多い県なので、もう少し改善されると良いかと思う。

- 引き続き、資料 5－3 に基づき、前回議題とした岡山県がん診療連携協議会のホームページの修正事項について報告があった。
- ・地域連携の内容について、緩和ケアパスの欄の「在宅リスト」が古いのではないかと指摘を受けたことについて協議した。
- 特に異論はなかったため、「■在宅リスト」の部分をもろと削除し、「■在宅緩和ケア地域連携クリニカルパス」の下部に「がん診療連携強化マップ」のバナーを新たに作成した。

④ がん看護部会

- 1 月 2 4 日に web 開催された第 7 4 回がん看護部会 (資料 6)、及び 3 月 2 8 日に開催した第 7 5 回がん看護部会について報告があった。
- ・研修グループでは、今年度のがん看護レベルアップセミナーの企画・運営について話し合った。テーマは「A C P 支援における患者との対話のコツ」、講師は四国がんセンターのがん看護専門看護師に決定した。日程は 1 1 月ごろで調整中。
- ・教育グループは岡山県共通のがん看護領域共通スライドの修正を行っていたが、完了したので各施設に配信を行っている。これを各施設での教育に使用していただき、評価していく予定である。
- ・質評価グループでは、昨年度「岡山県のがん看護の現状把握と課題」について、拠点病院等ががん看護に関わる看護師を対象にアンケート調査を行った。1038 名から回答を得て内容を分析したところ、岡山県のがん看護の課題として見えてきたのは、患者・家族とのコミュニケーションに看護師が困難さを抱

えていることであった。特に経験年数、施設別でも差がなかったため共通の課題であると考えている。その結果を踏まえてがん看護セミナーでも焦点を当てているし、各施設で行う院内研修でもコミュニケーションが学べる内容にしていきたいとお願いしている。他には、コロナ禍における地域連携、家族とのコミュニケーションの減少、身寄りがない患者への連携、在宅療養への支援等も難しい課題として上がっている。その辺りも多職種連携で検討していきたい。施設別でも結果報告を出しているので情報を生かして院内研修を組み立てていただくよう依頼している。

⑤ 研修教育部会

○資料 7-1～3 に基づき、3 月 10 日に web 開催された第 28 回研修教育部会、及び 2024 年度オンライン研修の結果について報告があった。

・年 1 回開催している研修会について、2 月 26 日(水)19:00～20:00 オンラインで開催した。テーマは「自分らしく生きるを支える多職種によるがん治療中のアプローチ」とし、津山中央病院、川崎医科大学附属病院、つばさクリニック岡山に講演していただき、その後ディスカッションを行った。本研修会のコーディネート、当日の司会は岡山済生会総合病院に依頼した。参加人数は過去最高の約 85 名、終了後のアンケート回答は 54 名であった。県下広範囲から多職種の方にご参加いただけた。満足度についても非常に高い評価をいただいた。

○引き続き、資料 7-4. 5 に基づき、令和 6 年度各部会での研修会開催状況、及び各施設での令和 6 年度下半期市民公開講座開催状況について報告があった。

多くの施設で開催しているので、今年度もぜひお願いしたい。

⑥ がん登録部会

○資料 8 に基づき、3 月 3 日に web 開催された第 23 回がん登録部会について報告があった。

- ・2013 年症例院内がん登録患者にかかる生存確認調査を実施したと岡山県から報告があった。
- ・今回から、岡山県院内がん登録報告書に掲載した各がん腫に医師がコメントを付与することとした。各施設の医師に依頼し岡山大学病院が集計した。協力に感謝申し上げる。今年度も実施予定なので担当部署のご協力を賜りたい。
- ・がん登録データの活用について協議している。

① 施設別集計の公表について、各施設がホームページに掲載している院内がん登録集計の報告がバラバラなので統一感を持たせていく方向とした。

② がん登録データを使って市民に啓蒙することを考えている。そこで、QR コードを使用する案やポスターを作成する案が上がった。川崎医科大学附属病院から、川崎医療福祉大学のデザイン学科の学生さんに試しにポスターを作成してもらったことがあるので依頼してはどうかと提案があった。実際にプロジェクトを進めるための費用については、がん登録部会から協議会の費用があることを確認している。川崎医科大学附属病院からは、学生にボランティアで依頼する場合は本協議会から正式に依頼していただきたいとの回答を得ている。これから詳細を詰めていくことになるが、協議会からも後押しをいただければありがたい。

自身も以前学会を開催するときにポスターを作成してもらった経験があり、声をかければ作ってくれると思うとコメントがあった。川崎医療福祉大学の学生に部会、あるいは協議会から正式に依頼することが決まれば自身からお声掛けさせていただく。文書だけでは伝わりにくいので、事前にデザイン学科長に説明しておいて OK が出れば、協議会議長名で依頼書を出していただく流れがスムーズかと思う。学生に依頼する場合、どのような内容を伝えたいかを明確にさせていただくと伝わりやすいこと、試験や卒業制作の時期に重なると出来上がりが遅くなる場合があることを注意していただきたい。費用についてはおそらく無償で作ってくれるのではないかなと思う。

→委員：大変ありがたいお話である。完成時期等、まだ詳細を部会で協議できていないのでぜひ相談させていただきながら進めさせていただければと思う。また、依頼書も協議会にお願いしたい。

⑦ がん薬剤師部会

○資料 9-1. 2 に基づき、2 月 15 日に開催された薬剤師対象の研修会について報告があった。

- ・岡山県薬剤師会玉野支部との共催で開催した。コロナ禍以降、初めての対面開催である。
- ・病院薬剤師の参加は主にごがん薬剤師部会メンバーであったため、対面の薬剤師部会を兼ねたような

形での開催となった。

- ・薬局薬剤師については、玉野市内の薬局約10店舗が参加した。玉野市では、病院が統合して新たな病院ができたこともあり、今までがん患者の処方箋をあまり受け入れていなかった薬局からの参加が多く見られた。ミニレクチャー後のグループディスカッションも盛り上がり、アンケート結果からも有意義な研修となったことが窺える。
- ・玉野支部会長から、岡山県薬剤師会 支部会でも報告をしてもらえると聞いている。好評なら、今後他の支部会とも共催できるのではないかと聞いている。

⑧ 歯科部会

○資料10-1、2に基づき、岡山県委託事業「がん患者を対象とした地域歯科保健医療の実態調査及び基盤整備」事業で開催したシンポジウムについて報告があった。前回報告した津山地区での開催に続き、合計3回開催した。

2) 倉敷地区 2月16日(日) 会場：川崎医科大学附属病院

3) 岡山地区 3月12日(水) オンライン開催(岡山市立市民病院)

- ・今後の予定として、12月14日に「中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 第17回歯科・口腔外科 Focused Seminar」を計画している。

○岡山県歯科医師会：一部の歯科医師はセミナーに参加させていただいた。地域の歯科にとっては、がん患者の口腔内管理ができる歯科医院と衛生士の養成が必要かと思う。それが難しい地域では病院歯科の担当になるかと思うので、すみ分けというか、それぞれに応じたセミナーの開催とした方がお互いに良いように感じた、検討をお願いしたい。

⑨ がんゲノム医療部会

○口頭で報告があった。

- ・昨年度、岡山県がん診療連携拠点病院のすべてががんゲノム医療中核拠点病院、または連携病院になった。がんゲノム医療は地域医療としてやっていただきたい。
- ・5月24日に岡山大学病院Jホールで日本癌学会 市民公開講座「女性のがんと予防」を開催する。各施設に情報提供しているので、ぜひ広報をお願いしたい。
- ・昨年度は部会単独で人材育成ができなかったのが、今年度はガンプロや他の部会とも連携を図っていきたいのでご協力をお願いしたい。

⑩ がん・生殖医療部会

○資料12に基づき、2月18日にweb開催された第8回がん・生殖医療部会について報告があった。

- ・昨年度はPDCAサイクル評価3か年計画の最終年度であったため、周知状況等を把握するため各施設にアンケート調査を行い、結果を共有した。
- ・アンケート結果によると、想定より相談の実数件数が少なかったり、院内フローの周知が不十分と感じていたり、院内スタッフへの教育が必要、院内がんのリソースとの連携が必要等が上がった。
- ・各施設でフローや資材の作成が進んでいるが、現場への周知や浸透が不十分な現状をふまえて、今年度以降の方向性を共有した。
- ・各施設で課題を上げ、分析をしていただいた。
- ・今年度は作成したフローをしっかりと活用していただくために周知に力を入れること、相談窓口を明記して利用促進に努めること、AYAサポートチームが立ち上がっている施設もあるので支援体制の周知。現場と支援チームの促進、スタッフの教育を目標に上げている。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院
報告事項なし

(5) その他

○岡山県医師会：岡山県と相談しながら新しい6か年計画を作成しているので、各部門にご協力いただくことがあるかと思うのでよろしくお願いしたい。

6 協議事項

特になし

7 その他

○事務局担当が院内の人事異動のため、協議会担当から外れると報告があった。参加施設の皆様へ、協議会活動の協力に対してお礼の言葉があった。

8 次回開催日

次回は、令和7年7～8月開催予定。

開催日が近くなったら日程調整を行う。

(岡山大学病院 鹿田キャンパス、又はw e b 開催)